飾って季節を実感

アイディアがつまった制作を楽しむ！

指先のリハビリにもなる、毎月の製作レクレーションは、みんなで過ごす楽しい時間です。お題のものを悪戦苦闘しながら、お客さん同士で和気あいあいに作る様子、スタッフと頑張る作品作りは、共に充実できるひとときです。完成した作品を室内に飾る事で、サンタの中が明るい雰囲気になります。なによりも季節を実感しながら過ごす事ができます。鑑賞する喜び、作る楽しさ、これからも、いろんな製作に挑戦していきたいですね。

「カラフル傘アート」
透明傘にシールを貼って、飾っても雨の日でも楽しめるオリジナル傘製作に挑戦！

「七夕飾り」
折り紙で作った七夕飾りを笹に飾って楽しみます。

「梅雨を彩るあじさい」
お花紙で作る、ふっくらと丸く咲いたあじさい。
葉っぱもつければ、さらに可愛いあじさいです。

楽しみながら書く 書道の時間

味わいのある書を楽しむことができる書道の時間。背筋を伸ばして、文字を書くことで、集中力がアップして、気持ちがすっきりして、ストレス解消にもなり、なによりも脳の活性化になります。皆さんからは「上手く書けないよ～ッ！」と思わず声を出してしまう場面もありますが、書き終えた後は皆さん笑顔で楽しい時間を過ごされたみたいですね。個性あふれる、味わい深い作品ができましたね。

熱中症対策

①喉が乾く前に水分補給
②汗をかいたら塩分補給
③エアコンと扇風機で温度調製
④朝昼晩の食事をしっかり食べる
⑤屋外で距離がある時はマスクを外す

熱中症判定

①手のひらが冷たい
②舌が乾いている
③つまんだ皮膚が戻りにくい
④親指の爪を押して、赤みが戻るのが遅い

月刊 サンタ新聞

発　行　所
有限会社ハートサンタ

santa's house
SPRING UP 2002

笑い・感動・生きがい

ゲストの皆様やご家族様に、もっとサンタの家を楽しんで頂くために、サンタの家の情報を発信していきます。

感謝

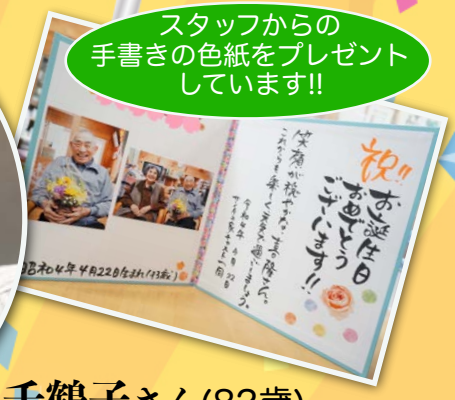
6月生まれ お誕生日 おめでとうございます

章浩さん(97歳)

壽一さん(94歳)

千鶴子さん(82歳)

スタッフからの手書きの色紙をプレゼントしています!!



清さん(79歳)

一男さん(86歳)

お誕生日を迎えるたびに、みなさんの笑顔が輝き、心豊かな人生を歩んでいけることを、スタッフ一同願っています。

自分の誕生日 祝福される日 感謝を伝える日

盛大にお誕生日を祝う 千鶴子さん(82歳)

6月13日に82歳になられた千鶴子さん。サンタで初めてのお誕生日をお祝いしました。皆さんを前にして、照れ笑いで恥ずかしそうにされていたのが印象的でした。家族の方からも素敵なメッセージを頂いているのでご紹介します。お誕生日を盛大にお祝いをしてあげたことはありません。サンタさんからプレゼントされた、きれいなお花とメッセージカードは飾ざりましたと、旦那さんが話してくれました。82歳のお誕生日が、千鶴子さんにも家族の方にも素敵な思い出のお誕生日になられて良かったです。

家族も喜ぶ誕生会 忠一さん(89歳)

誕生会の写真付き色紙とアレンジ花をテレビの上に飾ってあり「見て見て」と娘さん。こんな素敵なお誕生会をしてもらってありがとうございます。

感謝のお誕生会 清さん(79歳)

やわたに一番長く通われている方です！
みなさんから『おめでとう』と言われると『ありがとさん』と照れながら言われていました。

サンタは楽しい 一男さん(86歳)

『こんないい場所に来るのがいつも楽しみなんです。みなさんのおかげでこうして元気にやっております。ありがとうございます』

楽しみな場所 章浩さん(97歳)

東京のデイサービスでは、リハビリと入浴を兼ねての半日だけの通所に行っていました。
サンタに来てからは、朝のお迎えも「まだか、まだか」「今日は遅いな〜」など言われお迎えが待ちきれないくらい楽しみです。

サンタのCMを見ての感想

サンタのCMを見ると嬉しい気持ちになる！見れた日は毎回笑顔で報告してくれます。（美智子さん）

CMが流れているのを知り家で見ていたが、ずっと見れなかった。しばらくしてサンタでおやつを食べている時に見る事ができて「やっと見れた。こんだけ見れなかったから無いのかと思ってたけど、みんなと見れたから嬉しかった。（邦夫さん）

今年一月にサンタに通っていた父を亡くした今、CMを父との思い出を重ねながら見てます。私が額見に行くと何かしら声をかけに来た父を思い出すと涙が出る事も。
母も見て「言葉を読むと胸に来るものがあるね。素晴らしい言葉。」と母も行く度に「観れたよ」報告してくれます。（スタッフ和美さん）

CM放映期間は終了致しました。皆様、ご視聴ありがとうございました。

編集後記

私のフレーム越しに見えるサンタのゲストの皆さんは、元気で明るくて、その先には笑顔が輝いています。「サンタ新聞」では、そんな皆さんの様子をありのままに伝えていきたいと思っています。そして、新聞を見て頂いた感想などもお寄せ頂けたらと思います。これからも「笑い・感動・生きがい」の新聞作りを目指していきます。

(pn. 桃色Y子)

SANTA'S HOUSE 20th anniversary Since 2002

ホームページ

YouTube

Instagram